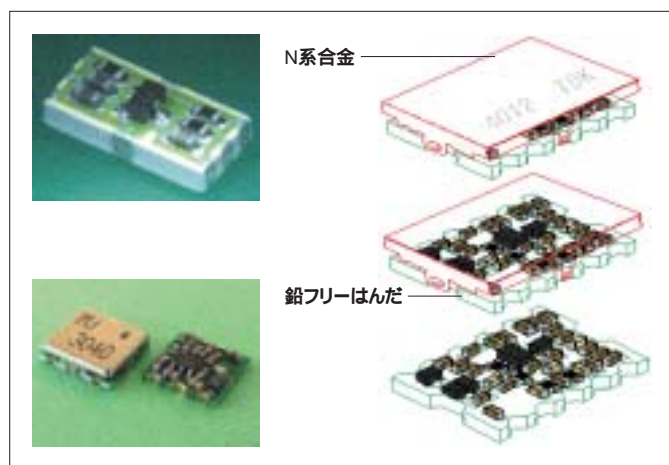


各事業所で着実かつ継続的な取り組みを実施 2001年度の主なトピックス

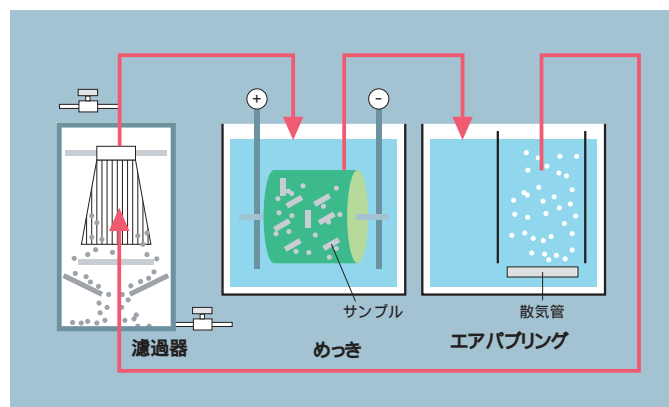
鉛フリー化

鉛フリーはんだへの量産化対応を完了。
鉛フリーはんだに対応した電子部品の量産化と承認活動を推進した結果、2002年4月をもって量産化対応を完了しました。並行して、材料の非鉛化の技術的取り組みを継続しています。



ゼロエミッション

クローズドシステムの横展開へ。
TDK Recording Media Europe S.A.(TRE、ルクセンブルグ)とTDK Manufacturing Deutschland GmbH(TMD、ドイツ)でゼロエミッションを達成しました。また、廃棄物を出さないクローズドシステムの展開として、めっき液中の障害物質を除去することにより液の寿命を延ばし、廃液の削減に貢献しています。



省エネルギー

コ・ジェネレーションシステムが稼働。
千曲川第二テクニカルセンターで2001年7月より天然ガス燃料のコ・ジェネレーションシステムが稼働し、4,000t-CO₂/年の削減効果を上げることができました。また、稲倉工場で風力発電に関する調査を行った結果、3,000MWh(定格1,750kWh導入時)の発電量が期待できることが明らかになりました。この結果を受けて、風力発電導入に向けた検討を進めています。



安全衛生

OHSMS導入を推進。
労働災害のリスクを一層低減するために、労働安全衛生マネジメントシステム(OHSMS)の導入を進めています。2001年度はリスクアセスメントの基礎構築、法的要求事項の特定方法等の検討・モデル事業所での試行を行いました。



環境会計

国内で本格的に導入。

TDKでは環境費用と環境負荷の関連を明確にし、より効果的な環境対策を推進する目的で、2001年度より環境会計を導入しました。2001年度の集計結果は以下の通りです。

分類	環境コスト			経済効果	環境保全効果
	当該年度 投資額(千円)	当該年度環境保全 維持管理費(千円)	当該年度人員 (従業員:人)	環境保全活動による 当該年度節減額(千円)	環境保全活動による当該年度負荷改善結果 法規制遵守及びその他の実績(当該年度分)
1 事業所内エリアコスト					
公害防止 (法規制管理)	375,929	671,406	38.4		・騒音・振動・臭気に関する苦情:5件
地球環境保全	504,266	252,952	12.8	・電力・燃料節減額:36,037	・CO ₂ 削減量:8,508t-CO ₂ ・社内緑化面積:16.8m ² ・社内植樹本数:35本
資源循環	143,510	841,774	28.8	・原材料等節減額:232,564 ・用水節減額:11,352 ・有価物売却益:1,153,021 ・廃棄物処分委託節減額:8,602	・原材料等削減量:14,835t ・用水削減量:53,266t ・有価物売却量:2,507t ・社外リサイクル量:13,313t ・廃棄物削減量:866t
リスク管理	0	18,845	6.7		・PRTR対象化学物質の排出削減量:1,080t ・土壌汚染対策実施件数:7件
2 上・下流コスト	0	4,082	1.2		・環境調査実施件数:880件
3 管理活動コスト	0	62,866	41.1		・教育受講延べ人数:4,797人日
4 研究開発コスト	0	104,867	2.0		・環境配慮型製品研究・開発件数:16件
5 社会活動コスト	0	16,171			・社外植樹本数:35本 ・ボランティア活動の 参加延べ人数:3,196人日 ・出稿・掲載件数:5件
6 環境損傷コスト	0	17,317	0.0		・修復実施件数(費用発生分):1件
総計	1,023,705	1,990,280	131.0	1,441,576	

(1) TDK本体及び国内関連会社の42事業所における実績集計です。

(2) 当該年度投資額は2001年度の支払額です。

(3) 当該年度環境保全維持管理費には、設備の原価償却費(法定)を含み、人件費は含まれておりません。

(4) 当該年度人員は、業務量比率を合計した人員です。

(5) 対象とした効果は実質的效果のみとし、推定的効果(リスク回避効果およびみなし効果)は含んでおりません。